
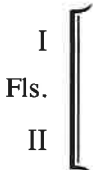


『小鳥の戯れと目覚め』 寸評

- ・ 課題旋律にたわむれる小鳥たちを吹き込んだ
- ・ フルートの音域をめいっぱい利用し多彩なうごきを実現
- ・ m.3 からのモチーフをおいかけてこさせる着想がみごと
- ・ 夢的一幕が閉じられるかのような終止も印象にのこる
- ・ タイトルも作品をよくつたえる

完成度をさらに上げるために

- ・ m.17 Rit. (rit. としよう) は全パートに関わる指示なので最上部にひとつだけでよい
- ・ m.18 フェルマータがほしい (キッチリ4拍かぞえる必要はないとの指示)
- ・ m.8 b.1-2 Fl. I は m.10 b.1-2 の記譜でよいのでは
- ・ m.6 b.2, m.7 b.2 Fl. II 連符にしよう 
- ・ m.13 b.3, m.14 b.3 Fl. I 四分休符にして
- ・ おなじ楽器を複数もちいる場合は第一～、第二～とする 
- ・ m.13 Fl. I とII をソックリ入れかえてそれぞれ前後の小節とつなげたらどうだろう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

イマジネーションの勝利!

持庵 勉